

阿南町社会福祉協議会

第105号

まめだかな？

長野県下伊那郡阿南町西條709 「おげんきサルビアの郷」内
TEL(0260)22-3151

まめな人達 No.31

このコーナーでは、阿南町で
元気に過ごしている
「まめな人達」を紹介します。



処暑を翌日に控えた八月二十一日の昼下がりに、照りつける太陽を後目に取材に訪れたのは、富草・下梅田(栗原)の木下菊榮さんのお宅です。事前に予約を入れておきながら、道に迷って予約の時間をオーバーして玄関先に駆け付けた私を、菊榮さんは「山奥でびっくりしたら」と優しく迎えてくれました。

屋敷は、林に囲まれた日当たりの良い丘の中腹にあり、納屋や蚕小屋、かつて肉牛の子取りをしていたという家畜小屋などが母屋を囲み、辺りの緩やかな起伏をうまく利用して様々な作物が作られています。

昨年一月に、八年以上介護をされた百歳になるお姑さんを天界へ送られた後直ぐ、四月には長年連れ添い苦楽をともにした最愛の夫である睦雄さんをまさかの病で亡くされました。「おじいさんはお医者が大嫌いなお人で、わしが具合悪くなると医者に行けと言うわりに、自分が悪い時には医者などちつとも行つたことがない」と言う菊榮さんは今一人暮らしで、数年前に足の手術をされて入院療養のご経験があり、ラクタータに乗ってご近所へ、また遠くにお出かけの際は、便数の少ない公共のバスを利用しているそうです。

それでも畑には、ささげ・大豆・インゲンなどの豆類、ウリ・トマト・ナス・かぼちゃなどの果菜類、畝立てしてある所にはこれから大根



と越冬ニンジンを播くそうで、その他、きび、シソ、みょうがなど緩やかな傾斜地をうまく利用して作られていて、これだけ沢山の作物を、お独りで世話しているのには感服しました。

折角ですので畑を見せてもらいたいとお願いとすると「草だらけだに」と恥ずかしそうにしながらも、あれやこれやと聞く私に、ひとつひとつ丁寧に案内してくれました。

「おじいさんは、百姓が大好きな人で何でもやったし、農機具も全部自分で操作しておつたから、わしは作物や家畜の世話と収穫、草むしりをしていただけで、草刈り機も管理機も使えん」と、平然と言っていました。

それで、これだけ多くの作物を作っているのは、何の成せる技でしょうか。

戦後、睦雄さんの父親の代にこの地に入植して、農地を広げ家族皆で農業を営まれてきた木下家は、高台にあるが故に天水頼りで、畑地の上に堤を作りしのでいきましたが、干ばつの年は本当に大変だったと、言葉少なく当時の苦労話をして下さいました。その堤は今、一面蓮の池となっています。

畑を一巡りしておいとます際には、お野菜を持たせていただき、残暑真っ盛りの時間帯にも係らず、お付き合いをいただいたことに感謝いたします。有難う御座いました。(井澤博之)

グループホームまめだかな

まめだより

『園児達とサツマイモ植え！・本番さながらの避難訓練』



職員も真剣です！

保育園の園児さん達と、まめだかなの畑でサツマイモの苗植えを行いました。職員の説明を受け、園児さん達が苗を植える様

六月七日、保育所交流会にて、大下条



冬の焼き芋会が楽しみ！

て交流を深めました。

七月九日に、まめだかなの避難訓練を行いました。阿南消防署から三名の署員の方にお越

いただき、職員と共に利用者九名の方々を、安全に避難させることが出来ました。万が一の時

に活かせるようにしたいと思

今年度、阿南消防署の方々には、五月のAED講習会や六月の初期消火・通報訓練にも来所してご指導いただきました。多大なるご理解とご協力に、この紙面をお借りして感謝申し上げます。

(林 大介)

子を、利用者さんも笑顔で見学したり、手助けをしていました。また、作業を終え、まめだかなの玄関前でジュースを飲んだり、歌をうたったりし

サルビア通信

新野盆踊り

謡に酔いしれて

♪けだるけりやこそ、すくい
さに来たに・・・♪
お盆に盆踊りおどりましたか？

デイサービスサルビアのどかではお盆も過ぎた八月二十日から二十四日まで盆踊り大会を開催しました。サルビアホールには色とりどりのちようちんが飾ら



れ浴衣姿の職員が盆踊りを盛り上げます。ゆつたりとした盆唄が流れだすと歌いだす人、輪の中に入つて踊る人、それを眺めながら座つたまま手だけ踊る人、さまざまな形で盆踊りに参加していただきました。す・く・い・さ、



高い山、竜峡小唄を踊つたあとは恒例の金魚すくい大会で楽しんでいただきました。かわいい金魚を一匹でも多くすくおうと皆さん大奮闘、欲が出るほどすくえなくて大笑いしました。

お盆も過ぎりや涼風が吹いてきて年寄りの季節はおわるなあと言われますが、これからも楽しい行事を行っていきますので元気でいてくださいね。

(花井 英子)

よしのの昔話

(第17話)

このお話は

清川よしこさん（御供在
住・九十六歳）が
幼き頃、先人より伝えら
れた昔話です

昔、長良川の橋は大雨が降る
度に流されてしまつて、村人達
は皆困つておりました。

ある日、そこを通り掛かつた
お坊さんが

「それは家紋がない袴かみしもの有る家
の人を、人柱にするとよい」と
いいました。



が、誰も
人柱に成る
のは嫌だか
ら自分の家
には「有る」
という人は
おりません
でした。
すると、



一人の女の子が
「我が家に有る」

といつたので、その子のお父さ
んは人柱にされてしまいました。

それからその子はしゃべれな
くなつてしまいました。ですが、
一生懸命働いてお母さんを助け、
美しく氣立ての良い娘になりま
した。

素直でよく働くので、よい娘

と評判になり
方々からお嫁に
と貰い人が大勢
来るようになし
ました。娘は
「お母さんを置い
ては何処へも行
けない」と断つて
おりましたが、お
母さんは
「娘が幸せになれ
ば」

とお嫁にやりま
した。

嫁ぎ先のお家
でもよく気が付
いて一生懸命働
きますが、少しも
喋りませんので、
皆困つてしまひました。

良く働くし、躰が良いので申
し分は無いが、少しも喋らない
のでは困ると離縁することにし、
送って行くことにしました。

長良川のそばまで来た時、雉
が鳴いて、獵師に撃たれて死ん
でしまいました。

すると娘が

「口ゆえに、父は長良の人柱、



雉も鳴かずば撃たれまい」と
いいましたので、送つてきた
人は驚いて色々わけを訊きまし
た。そして、

「この娘は馬鹿どころでは無い。
本当は利口な娘だ」と、連れ帰りました。

それから、母親も一緒に暮
らせるようになり、家の中も明
るく良い家庭となり本当の幸せ
が訪れました。



社会福祉法人 阿南町社会福祉協議会新役員名簿

当協議会の役員が平成24年8月5日の任期満了に伴い、改選となりました。そこで新役員の紹介をさせていただきます。

会 長	松 下 俊 一	(再任)	地域福祉関係者
副会長	勝 野 一 成	(再任)	副町長
理 事	太 田 直 昭	(再任)	町議会・社会文教常任委員長
理 事	土 屋 好 文	(新任)	町民生児童委員協議会・会長
理 事	中 島 正 子	(新任)	地域福祉関係者
理 事	佐々木 廣 賢	(再任)	地域福祉関係者
理 事	金 田 修	(再任)	地域福祉関係者
理 事	勝 又 修	(再任)	常務理事
監 事	加 藤 勝 民	(新任)	町監査委員
監 事	前 澤 保 人	(新任)	地域福祉関係者

◆任期2年間 (平成24年8月6日～平成26年8月5日)

掲示板 ひなたぼっこ

『障害者のための相談日』開催のお知らせ

仕事のこと、経済的なこと、福祉サービスのことなど、地域で生活するうえで困っていることや悩みなどがありましたら、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は固く守られます。

●日 時 平成24年 9月26日(水) 10:00～15:00

●会 場 阿南町役場 1階 相談室

◆事前予約について…予約なしの来場も歓迎いたしますが、相談内容を事前にお知らせいただければ、相談日当日、内容について詳しくお答えすることが出来ます。事前連絡先は下記担当者までお願いいたします。

■阿南町身体障害者福祉協会 事務局 井澤博之 ☎22-3151

浄財の御礼

故松澤たか様(深見)、故羽田野秀子様(平久)のご遺族より多額の浄財を賜りました。

紙面を通じ御礼申し上げます。有難うございました。

前号(増刊号)の訂正・追加

●ご支援、ご厚志一覧 (P.12)

(誤) 萱垣 光英 様

(正) 社会福祉法人 萱垣会様

(追加) 村山 祐一 様

編集後記

今号まめな人達でご登場した菊榮さん「昔、子供はえーごておつたでな」と呟いた。えーごてとはどこにもという意味らしい。あんじゃない・けなるい・ちようきな…まだまだ沢山この地方の言い回しはある。お年寄りと接する機会の多い仕事柄、わからないとすぐに聞き返してしまう。大抵は笑って答えてくれる。言葉はコミュニケーションの手段であるが、共通の言葉を持たない相手と出くわすと歯がゆい。こぼれ話をもう一つ、菊榮さん曰く、「子供はほうりびちやりで育ったもんだ」「ヒモでくくって野良へ出た」子供たちも自然とたくましくなるわけである。時代の成せる業と片付けてしまうにはいかない現実があるような気がしてならない。

(井澤 博之)